

10月18日から20日までの日程でシンガポールの「サンテック国際展示場」で開催されたアジア最大級の複合材料国際フェア「JEC Asia 2011」(シンガポール)が無事、終わりました。

『J E C A s i a 2 0 1 1 in シンガポール』 (サンテック国際展示場 2011.10.18-20)

9月18日 発送整備の終わった「支援ハウス」に、子どもたちが東日本復興への願いを込めて絵を描きました。



10月4日 「支援ハウス」を搬送のために解体。内部に全部材と展示用パネルなどを納めました。まだ大人2人くらい入るスペースがあり、緊急生活支援物資を納めるスペースも十分です。



解体前の「支援ハウス」。6年前の作品とは思えないほど、きれいです。強化プラスチックだからこそです。



10月6日 関西国際空港の国際貨物センターに「支援ハウス」を搬入。フォークリフトで簡単に移動できました。いよいよです。(前日、計測した重量は990kgでした。)



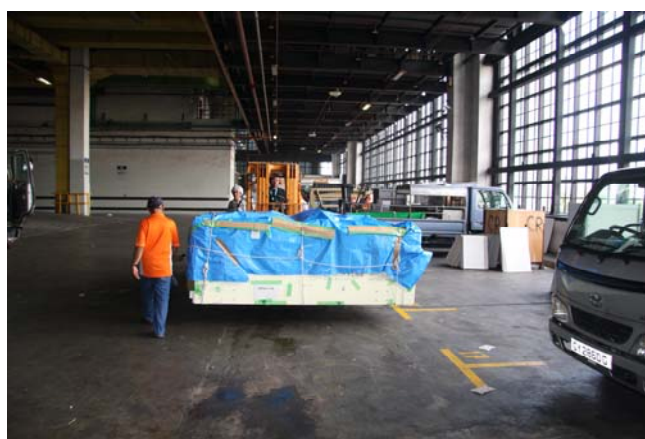
10月16日 私たちも開催地のシンガポールに到着。会場の「サンテック国際展示場」を見学しました。



写真左：有名なマリーナベイサンズホテル。 右は会場となるサンテック国際展示場です。



10月17日 午前11時、「支援ハウス」が会場に到着。フォークリフトで会場内に移動し設営を開始、
 多くのお手伝いもあり、午後5時には展示のための、すべての作業が完了しました。
 (大企業のクラボウ㈱と並んだ「オフィス・オカムラセイジ」の看板には、びっくりしました。)



フォークリフトのおかげで、組立て作業も簡単でした。写真右：設置場所に移動される支援ハウス。



組立て作業のために、シンガポールまで応援に来てくださった和光産業㈱の鈴木社長さん。
 右は妻の里美。FRPサービス㈱の皆さんも総出でお手伝いくださいました。ありがとうございます。



DVD映像、テントもセットしました。



写真右：FRPサービス㈱の柳田社長さんと



ベッドなどの備品の取付けを終えた室内
テーブルには食器を飾りました。



会場内の通路には、赤いジュウタンが敷き詰められ、各ブースの上には各国の国旗が吊り下げられています。「ジャパン・パビリオン」の上にも日本の国旗。
日本を背負って出展しているような責任を感じました。



展示をほぼ終えた館内の様子



頭上には「JAPAN」の看板、国旗。「OFFICE OKAMURASEIJI」の看板も。

10月18日～20日 「JECアジア2011」



娘の星香も通訳として、また大阪からは山本さんも掛けつけて下さいました。



雑誌などの取材を受けましたが、FRPサービス(株)の篠原さんにお任せしました。私は英語が苦手です。



写真右：一階ホールの広い受付。会場は4階。エスカレーターで上がります。
来場者はインド、タイ、フランス、インドネシア、ベトナムなど様々ですが、英語は必須ですね。



J E C本部のインフォメーション。

パネルも英語で作りました。



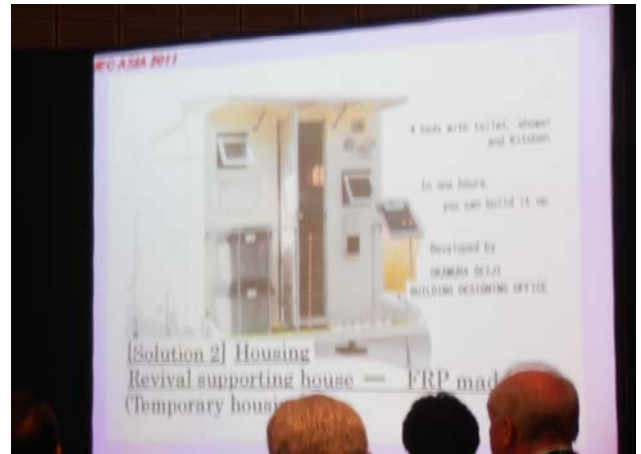
広い会場に多くのブースが設置され、ビジネスマンの商談が行われています。ビジネスが成立しなければ
出展する意味はないということです。

(日本から初めて出展されたという中小企業の社長さんは大きな手応えを感じたようです)





写真右：JECはフランスの会社で、国際展示会はパリとボストン、シンガポールで開催されています。社長も副社長さんも女性でした。さすがフランスですね。



写真左：展示会を企画してくださったFRPサービス株の篠原本部長さん（一列右）らと記念写真。

FRPサービス(株)代表取締役社長の柳田さんと娘。



JEC主催のパーティーは、ソフトバンクのCMで有名な「マリーナ ベイ サンズ」で行われました。

感謝をこめて・・・

7月15日に行った東京都庁での展示会が、今回のJEC展示会へとつながりました。

東京の真ん中で展示会をさせていただいただけで大満足だったのに、シンガポールまで来てしまいました。

これから「支援ハウス」がどう展開していくのか、まったく未知数ですが、「災害時の避難所からの早期開放」という大きな目標を実現するために、これからも努力して参りたいと思います。

ご協力いただきましたFRPサービス(株)、プラスチック産業資材新聞の高橋様に、心からお礼申し上げます。

岡村精二